

案内看板設置



県道下郷会津本郷線の氷玉峠駐車場に、歴史の道下野街道を案内する案内看板を整備しました。会津バスでは、春から秋の週末に大内宿や本郷焼を見学できる周遊バス「大内宿こぶしライン号」を運行しており、本駐車場では観光客が下野街道の石畳を見学することができ、その際にも活用されています。

利用状況

- ・県道下郷会津本郷線（大内宿こぶしライン）や下野街道の旧道を案内する看板を整備し、県道の利用促進が図られています。
- ・県道下郷会津本郷線を利用し大内宿へ向かう交通量が増加しています。

まち歩き状況



会津美里町本郷地区のまち歩き



下郷町大内地区のまち歩き

関係機関

- 福島県 会津若松建設事務所 企画調査課
- 会津美里町商工観光課
- 会津美里町建設課

TEL : 0242-29-5455
 TEL : 0242-56-4914
 TEL : 0242-56-3895

会津美里町本郷地区と下郷町本郷地区の
 新たな広域交流連携を創出

下郷会津本郷地区

会津美里町、下郷町

会津若松建設事務所
 計画期間：H19～

地域づくりの方針

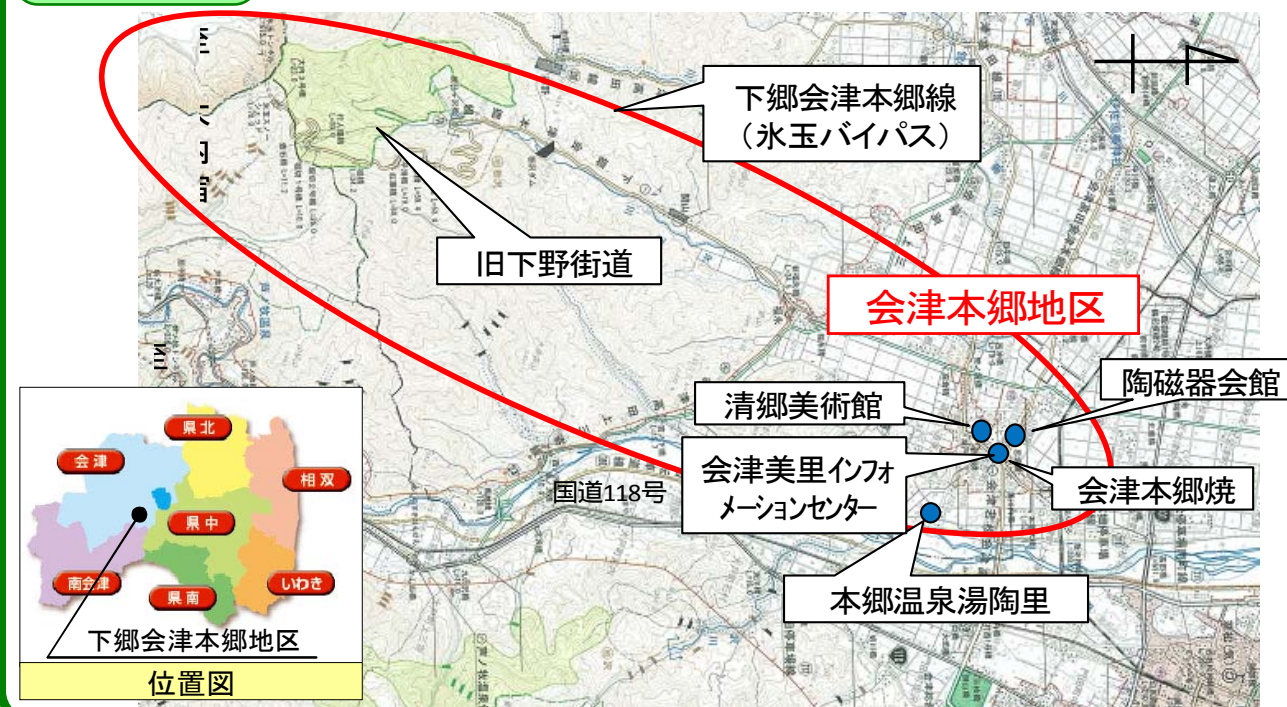
「やすらぎとてなしの街づくり」をコンセプトに焼き物の町としての歴史産業的資源や自然資源を活かした魅力ある街づくりを行うため、「街なみ環境整備事業」に継続して取り組むとともに、県道下郷会津本郷線氷玉峠の開通や磐越自動車道新鶴スマートICの本格運用を機に、大内宿をはじめとした観光地との広域的な連携にも取り組む。

主な事業内容

下野街道をととした両地区の広域交流連携をさらに促進するための検討会を開催しました。



事業概要図



地域の現状

会津美里町本郷地区は、約400年の伝統を誇る会津本郷焼きの一大産地として江戸と会津を結ぶ下野街道の街道筋として古くから栄えた町ですが、近年の窯業の弱体化等により、かつての焼き物の町としての賑わいが失われつつあります。

「会津美里町本郷地区と下郷町大内地区の広域交流促進検討委員会」を開催し、県道下郷会津本郷線（氷玉バイパス）の利活用や本郷・大内地区間の交流促進に向けた施策を検討し、可能なものから官民一体となった取り組みを進めています。

地域づくりのあゆみ

平成19年

・「会津美里町本郷地区と下郷町大内地区の広域交流促進検討委員会」を、南会津建設事務所とともに開催し、両地区の広域交流に向けた話し合いを行った。

平成20年

・「会津美里町本郷地区と下郷町大内地区の広域交流会」を、南会津建設事務所とともに開催する予定であり、前年度に引き続き両地区の広域交流に向けた話し合いを行う。

地域づくりをする上での課題

（県担当者）

■地域の賑わい創出のための今後の展開につながるものとするためにも、地域主体の取り組みに繋げていくことが本地区の課題であり、これらの方向付けをコーディネートすることが我々の役割であると考えています。

元気づくりの立役者たち

会津本郷焼



大内宿



大内宿との交流連携



事業の効果

■地域資源の周知による交流人口の拡大

会津美里町観光協会が、会津美里町の観光イベントと県道下郷会津本郷線を経由して会津美里町、会津若松市方面へ行けることをPRするために、大内宿入り口で、マップ等の配布を、毎月1回程度実施しています。

情報提供の様子



つめっこ焼き



■つめっこ焼きを大内宿で販売

大内宿で販売をしたところ、いままでの1.5倍売り上げが伸びました。
つめっこ焼きとは、練ったそば粉を丸め、その中に、会津産のきのこや、ごまあん、ふきのとう味噌などを入れて焼いた、「そば焼きもち」です。
下郷会津本郷線の氷玉バイパスの開通を記念して、会津美里町と下郷町の商工会で共同で開発した商品です。

■地域イベントの開催による地域間交流の拡大

大内宿と会津美里町の両観光協会が主体となって、大内宿雪まつりや会津美里町高田地区大俵引き等、両地区で開催されるイベントにお互いに参加しており、交流が盛んです。

イベントの様子



地域の課題・今後の展望

本郷地区においては、各種団体がそれぞれに取り組みを行っていますが、地域の活性化を図るうえでは、各地区が一丸となり連携して取り組みを行っていく必要があります。

地域の賑わい創出のための今後の展開につながるものとするためにも、地域主体の取り組みに繋げていくことが本地区の課題です。

観光客に、大内宿から県道下郷会津本郷線を利用し本郷地区・会津若松方面へ行けることが、まだ十分に認識されていないため、PR方法を考えていきます。